

第29回全国金魚すくい選手権大会 選手の皆様へ ～ 注意事項 ～

☆服装や事前準備

- 選手は大会終了まで必ずゼッケンを胸と背中の中2カ所に付けておいてください。
- 選手は整列中から体育館シューズもしくはスポーツシューズを着用して競技してください。
- つばのある帽子は好ましくありません。かぶる時は後ろ前にかぶってください。
また、周囲全てにつばのある帽子や、かぶり物の類は脱いで競技してください。

☆競技前

- 選手は、必ず競技開始10分前の招集コールに集合してください。
- 選手の配置は、別冊「選手の配置について」を参照してください。
- 選手はプラカードの誘導に従って水槽へ入場し、競技終了後も誘導に従って退場してください。
- ポイは、1分以内に選んでください。(時間を超過すると反則となります)
- ポイを選んだ後、競技が始まるまでの間は、水槽に身を乗り出して影を作ったりしないで待機しておいてください。

☆競技

- 競技は、1人1枚のポイで3分間に何匹すくえるかで競います。
- 必ず片手で競技を行い、もう一方の手でボールに触れてはいけません。
ただし、ポイの持ち手を替えてもかまいません。
- ボールから水を捨てる時は両手を使ってもかまいません。
- ポイは柄の部分を持ってください。円の部分を持ってはいけません。
- 水槽の壁面を利用してポイで金魚をすくい上げる行為をしてはいけません。(壁すくいの禁止)
- ポイを水面から完全に上げずに金魚をボールへ流しこんではいけません。(流しこみの禁止)
- 競技中に、肘関節を水の中につけてはいけません。

☆判定

- 競技中に反則行為を繰り返す場合、3回目をもって競技の停止を宣告します。
- 反則行為、又は著しいマナーの欠如により審判員より競技の停止の宣告を受けた選手は、直ちに競技を終了しなければいけません。審判員に対する暴言等の威嚇的行為については競技停止とします。
- 競技時間内であってもポイが使用不能になった時、又は競技の停止の宣告を受けたときは、その選手は競技を終了しなければなりません。
- 反則行為によってすくった金魚は計数しません。
- 審判員が計数する際は、選手も共に行い、タブレットに審判員が入力するのを確認してください。

☆マナー等

- 選手は常に金魚すくい技術の向上につとめるとともに動物愛護の精神を涵養し、金魚に愛情をもって接するようにしてください。
- 競技中は私語禁止です。また、他の選手の集中力を妨げるような行為をしてはいけません。
- 選手は必ず審判員の判定に従って下さい。
- 貴重品は、各自で管理して盗難には十分注意して下さい。